

1日目(11月21日) セッション概要 - III

VC-1 顧客価値創造の開発手法 13:10 エンタープライズアジャイル

株式会社アイネット
代表取締役 竹腰 重徳



【セッション概要】

グローバル競争が激化する中、企業は顧客価値創造のイノベーションが求められ、顧客価値創造の開発手法であるエンタープライズアジャイルの重要性は高まっている。

その実現のためには、エンタープライズアジャイルを単にプロセスと捉えるのではなく、経営の視点からエンタープライズアジャイルの価値をしっかりと理解し、大規模プロジェクト、分散開発、コンプライアンス、契約、スキルなどのエンタープライズアジャイル採用上の課題を考慮しつつ、まずはスタートアップすることがすすめられる。

【講演者略歴】大阪大学工学部卒。マツダ、日本IBMを経て、株式会社アイネット。PM、アジャイル、経営品質、業務知識、営業、リーダーシップの研修開発やコンサル。北大非常勤講師や板橋経営品質審査員。PMAJ、PMIJ、PM学会などに寄稿や講演。PMP®、PMI®-ACP。

VC-2 日立での震災復興への取り組み事例 14:15 地域の再生、産業の新たな創出に向けて

株式会社日立ソリューションズ東日本
地域復興貢献室 室長 庄司 貞雄

【セッション概要】

日立ソリューションズ東日本では、日立グループにおける地域企業として、震災直後に地域復興貢献室を設置し被災地の復旧支援と復興に向けた様々な貢献活動を継続してきた。IT企業として自社の得意技術を活かした貢献を旨とし、①被災からの復旧支援、②自治体などの復興計画策定・実施への貢献、③新技術開発による地域の再生と産業の新たな創出への寄与、を方針としている。

講演では、長期的な視野に立った本業との連動を重視した活動の事例と今後の展開を紹介する。

【講演者略歴】1987年に日立東北ソフトウェア(現日立ソリューションズ東日本)に入社。人工知能の技術開発や各種大規模システム開発プロジェクトを経験して、2003年から品質保証部長を務め、自社の開発プロセスの改善に取り組む。東日本大震災の直後より復興貢献業務に携わる。

VC-3 『学び』をデザインする 15:35 「ことばスタンプ」開発で目指した価値

株式会社ジイケイテック
インタラクティブシステム開発部 室長 大久保 理

【セッション概要】

国立民族学博物館にある「ことばスタンプ」は『学び』にこだわって創り上げたインタラクティブな展示物である。

利用者(主に子供)が意識することなく、ごく自然な対話的操作で「ことばスタンプ」から、ひらがなの音やことばの成り立ちを学ぶことを、主要な価値と考え開発に当たった。

この開発を通して、担当メンバーの専門性を越えた情報共有と創造力が発揮され、『対話的操作における学び』について多くの知見を得ることができた。

【講演者略歴】千葉工業大学工業デザイン学科卒。1992年ジイケイテックに入社後、グラフィックデザインを中心に活動し、現在は公共施設などにおけるインタラクティブシステムの企画・設計・制作に携わる。

VC-4 農業イノベーション無くして日本の未来はない! 16:40 農業と他産業との連携が創る社会的価値は大きい

株式会社エムスクエア・ラボ
代表取締役 加藤 百合子

【セッション概要】

安倍政権が農業に注力していることもあり、他産業からも熱い視線が注がれ、生産現場でも6次産業化やTPP対策など、動きが活発になってきた。

農業は生産という点だけでも社会に必要な産業であるが、雇用や健康、教育など社会問題となっている観点からみても農業の活用は無視できない。

農業イノベーションがいかに社会にいい影響を与えるかご紹介し、事業創造のヒントになればと思う。

【講演者略歴】1998年東大農学部卒、英国クランフィールド大学修士号取得後、NASAのプロジェクト、キヤノン、産業用機械メーカー研究開発を経て、2009年エムスクエア・ラボを設立。2012年農業事業にて日本政策投資銀行第一回女性ビジネスプランコンテスト大賞受賞。

価値創造トラック



展示コーナー

出展企業名	出展概要
プラネット株式会社 http://www.planetkk.net/	PMグローバルスタンダードの手法をご紹介します
株式会社ウェブアイ http://www.webi.co.jp/	統合プロジェクトマネジメントシステム PREGARE・工程'sのデモと納入事例のご紹介
プロジェクトマネジメント情報研究所株式会社 http://www.pmdi.jp/	プロジェクトマネジメントに関する製品やコンテンツおよびサービスのご紹介
千代田システムテクノロジーズ株式会社 http://www.cst.chiyoda.co.jp/	PRIMAVERAによるEPMシステム構築の実例・機能等のご紹介
株式会社IPテクノサービス http://www.ip techno-s.com/	オンライン型プロジェクト実行管理ツール「Clarizen」(クラリゼン)のご紹介
日揮情報システム株式会社 http://www.jsys.co.jp/	IT企業、エンジニアリング企業向けのプロジェクトマネジメントサービス事例のご紹介
Global Project Design, LLC http://gpdesign.com/	プロジェクト・デザイン・サービス(プロジェクトのプランニング・フェイズのコンサルティングサービス)の説明およびTeamPortプロジェクト・デザイン・ツールのデモを実施
株式会社 イー・ウーマン http://www.ewoman.jp/	時間が見えて、自分をマネジメントするのに最適な手帳『アクションプランナー』2014年版 59色のご紹介
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社 http://panasonic.co.jp/avc/pstc/index.html	eラーニングと集合教育による、効果的なPM人材育成教育(PM入門、PMC、PMSプログラム等)をご紹介します
アセンテック株式会社 http://www.ascentech.co.jp/	PMソフトをセキュアにより容易に使うための、世界シェア73%のリモートPCクラウドサービス「CitrixGoToMyPC」をご紹介します

参加者交流の場

このコーナーでは、参加者に「共有」の場を提供することにより、新しい考えや気づきを生み出すきっかけを作ることを目的としています。どうぞ積極的にご参加ください。

参加方法は、4つあります。

その1 コメントを書いた付箋紙を貼る

テーマごとに模造紙を貼り付けたボードを用意しています。付箋紙にご自身の意見や感想を自由に書いて貼り付けてください。他の人が貼り付けている意見に対する感想も歓迎です。

その2 Twitterでつぶやく(ハッシュタグ #pm_cafe)

付箋紙の代わりにつぶやいても構いません。スタッフが良いと思った意見は付箋紙に書いて貼り付けます。また、反対に付箋紙に書かれた内容をつぶやいても良いでしょう。

その3 話し合う

模造紙の前でテーマに関する会話を行います。立ったままで気軽に参加してください。

その4 眺める、聴く

意見を書いたり、対話するのが苦手という方はボードに貼ってある意見を眺めたり、ボードの前で行われている対話を聴くだけでも構いません。



ドリンクコーナー